

平成25年(2013年) 2月の結果 (二人以上の世帯)

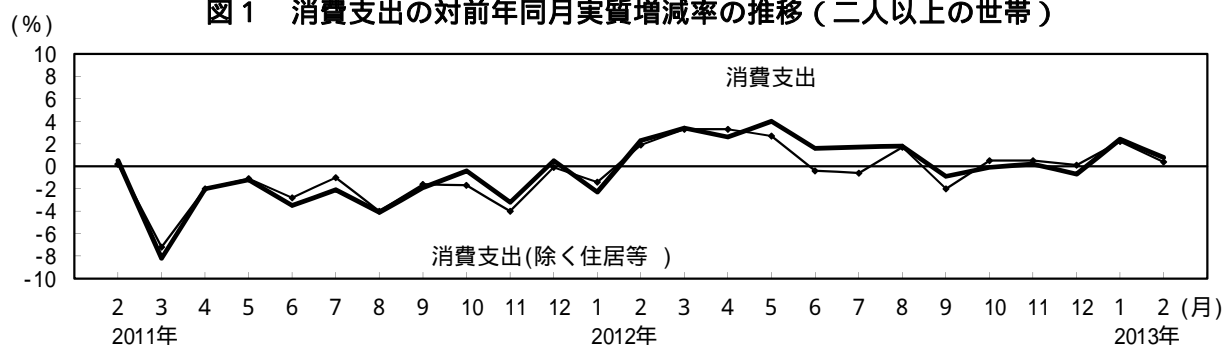
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	268,099 円		
前年同月比	実質 0.8%の増加	前月比(季節調整値)	実質 2.2%の増加
	名目 0.1%の増加		
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質 0.4%の増加	前月比(季節調整値)	実質 1.5%の増加
	名目 0.3%の減少		
うち勤労者世帯の実収入は、		うち勤労者世帯の消費支出は、	
前年同月比	実質 0.8%の減少	前年同月比	実質 2.7%の増加
	名目 1.5%の減少		名目 2.0%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

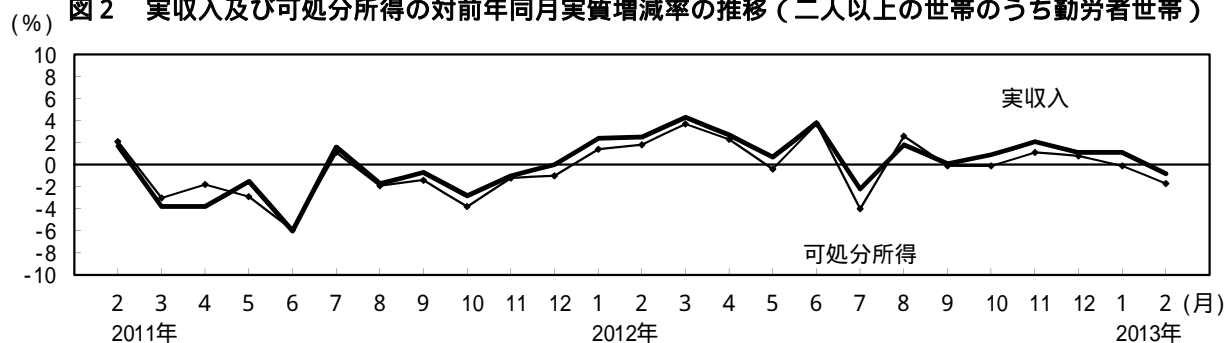
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2012年												2013年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	2.3	3.4	2.6	4.0	1.6	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7	2.4	0.8	
消費支出(除く住居等)	1.9	3.3	3.3	2.7	-0.4	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1	2.2	0.4	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2012年												2013年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実収入	2.5	4.3	2.7	0.7	3.8	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1	1.1	-0.8	
可処分所得	1.8	3.7	2.3	-0.4	3.7	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8	-0.1	-1.7	
消費支出	2.8	4.3	3.8	0.9	2.5	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2	4.1	2.7	
平均消費性向*	0.7	0.5	1.3	1.3	-0.6	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7	3.6	3.3	

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年2月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	268,099	0.1	0.8	0.8		2か月連続の実質増加
食 料	61,762	-2.5	-0.7	-0.16	<減 少> 外食,調理食品など	3か月ぶりの実質減少
住 居	14,701	-11.5	-11.1	-0.69	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	7か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	30,206	1.0	-1.9	-0.21	<減 少> 他の光熱,電気代など	4か月ぶりの実質減少
家具・家事用品	7,855	-4.5	-0.7	-0.02	<減 少> 家事雑貨,寝具類など	2か月ぶりの実質減少
被服及び履物	9,117	3.3	3.8	0.12	<増 加> 洋服,履物類など	2か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	11,733	-8.8	-8.3	-0.40	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具など	10か月ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	40,625	12.4	11.4	1.54	<増 加> 自動車等関係費,通信	13か月連続の実質増加
教 育	11,723	5.2	4.8	0.20	<増 加> 補習教育,授業料等	2か月連続の実質増加
教 養 娛 楽	26,312	0.6	3.5	0.35	<増 加> 教養娯楽用品,教養娯楽用耐久財	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	54,064	-1.1	(-0.4)	(-0.09)	<減 少> 交際費,諸雑費	2か月ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[1.42]	自動車購入,自動車等関連用品
教養娯楽用品	[0.25]	スポーツ用品,音楽・映像収録済メディア
通信	[0.15]	移動電話通信料,固定電話通信料
洋服	[0.13]	男子用上着,婦人用コート

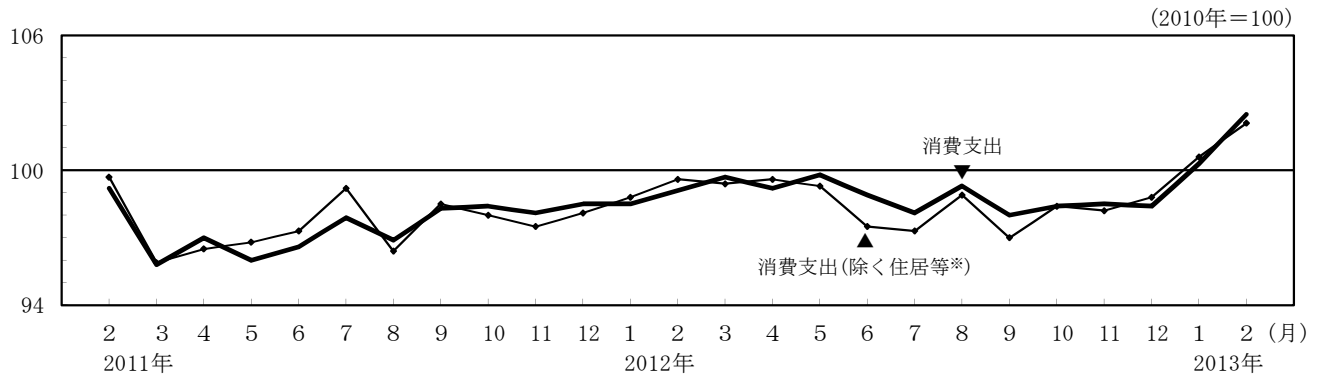
< 減少項目 >

家賃地代	[-0.43]	公営家賃,給与住宅家賃
設備修繕・維持	[-0.26]	設備器具,給排水関係工事費
保健医療サービス	[-0.22]	歯科診療代,医科診療代
保健医療用品・器具	[-0.18]	眼鏡
諸雑費	[-0.18]	葬儀関係費,温泉・銭湯入浴料
他の光熱	[-0.16]	灯油
交際費	[-0.14]	贈与金

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2012年												2013年	
	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	
消 費 支 出	99.1	99.7	99.2	99.8	98.9	98.1	99.3	98.0	98.4	98.5	98.4	100.3	102.5	
対 前 月 変 化 率 (%)	0.6	0.6	-0.5	0.6	-0.9	-0.8	1.2	-1.3	0.4	0.1	-0.1	1.9	2.2	
消費支出(除く住居等※)	99.6	99.4	99.6	99.3	97.5	97.3	98.9	97.0	98.4	98.2	98.8	100.6	102.1	
対 前 月 変 化 率 (%)	0.8	-0.2	0.2	-0.3	-1.8	-0.2	1.6	-1.9	1.4	-0.2	0.6	1.8	1.5	

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年2月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	476,256	-1.5	-0.8	-0.8	7か月ぶりの実質減少
世帯主収入	346,730	-2.9	-2.2	-1.60	3か月連続の実質減少
定期収入	344,282	-2.8	-2.1	-1.55	3か月連続の実質減少
配偶者の収入	54,771	12.3	13.1	1.32	15か月連続の実質増加
うち女性	53,956	13.0	13.8	1.36	16か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,380	-0.1	0.6	0.01	5か月連続の実質増加
非消費支出	80,460	3.3	—	—	6か月連続の増加
可処分所得	395,795	-2.4	-1.7	—	2か月連続の実質減少
消費支出	298,682	2.0	2.7	—	13か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	75.5	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、77.8%で、前月に比べ、1.1ポイントの上昇となった。
		72.2	3.3		